

学校だより



津市立櫛形小学校
R8.9.25発行
第10号 文責：校長

📎 令和8年度全国学力・学習状況調査より 📎

4月23日に6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」（国語・算数・児童質問調査）を実施しました。この調査の目的は、児童の学力や学習状況を把握・分析し、これまでの取組の成果や課題を検証することで、児童への学習指導の充実や学習状況の改善を図ることにあります。本校の児童数は少ないため、全体としての傾向・対策を分析していくのは難しい面がありますが、本校児童の調査結果等をお知らせするとともに、学校・家庭・地域が状況や課題を共有し、同じベクトルに向けて子どもたちを育てていければと考えます。



(1) 教科に関する調査結果の概要

	国語		算数	
	平均正答率(%)	中央値 (全13問)	平均正答率(%)	中央値 (全16問)
櫛形小	63	8	61	8
三重県	61	8	55	9
全国	60.9	8	56.4	9

(2) 国語 (○強み、●課題)

- 全国・三重県正答率をやや上回っている
- 比喩表現の工夫が読み取れていない ●選択肢の文章の違いを捉えきれていない
- 指定された条件に合わせた文章を書くことに苦手意識がある
- 長文やたくさんの資料から必要なことを読み取ることに苦手意識がある

(3) 算数 (◎強み、●課題)

- ◎全国・三重県正答率を大きく上回っている
- 小数の計算、四捨五入、単位量当たり、二次元の表の読み取りに苦手意識がある

(4) 児童質問紙調査より (◎○強み、●課題、△注目)

- 主体的・対話的で深い学び…「学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができている」→肯定的回答（本校 100%）、「授業で学んだことを、次の生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思う」→肯定的回答（本校 100%）
- ◎自分で学び方を考え、うまくいかなければ工夫する力（学びの自己調整）…「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫している」→肯定的回答（本校 88.9%）、

○自己肯定感…「自分にはよいところがある」→肯定的回答（本校 88.9%）、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」→肯定的回答（本校 88.9%）、「先生はよいところを認めてくれる」→肯定的回答（本校 88.9%）

●心理的安全性…「学級で人と違う意見を言っても否定されないと思う」→肯定的回答（本校 44.4%、－25.2%）

△読書・読書習慣「一日の読書時間」→30 分以上（本校 22%、全国比－4.1%）、

◎「将来の夢や目標を持っている」→肯定的回答（本校 100%）

◎人権意識等…「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」→肯定的回答（本校 100%）、「人が困っているとき、進んで助けている」肯定的回答（本校 100%）

(5)調査結果（学調）から見える課題と今後の取組等

□授業改善

本校の学力は国語・算数とも平均正答率を上回っており、概ね定着しているとみることができます。本調査では、知識や技能を身に付けているかだけでなく、身に付けた知識や技能を活用して考えたり、必要な情報や根拠を基に自分の考えを説明したりする力も問われています。例えば、表やグラフなどの資料から必要な情報を読み取って考える問題や、学んだことを生かして日常生活の問題を解決する問題、自分の考えを文章で説明する問題などが出題されています。

これらに対応するため、本校では、ペアやグループで多様な考えを説明しあったり聞きあったりなどで交流する場を授業の中に設定し、友達の考えを聞いて自分の考えを深めたり、広げたりする学習を充実させます。また、意見の違いが生まれる課題や、日常生活と関連した課題を意図的に設定し、知識を活用して考え、説明する学習を進めます。

国語については条件に合わせて書く活動や、学習プリント等も継続して取り組んでいきます。

また、「分かる・できる」で終わるのではなく、「なぜそう考えたのか」「学んだことをどう生かせるのか」まで考える授業を大切に、だれ一人取り残さない授業づくりを進めていきます。

□心理的安全性

「学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」については肯定的な回答が多い一方、「学級で人と違う意見を言っても否定されないと思う」については肯定的な回答が少なく、話し合いを通して多様な考えを交流し、学びを深めるためには、心理的安全性の確保が課題です。話し合う場を設定するだけでなく、異なる意見を意図的に取り上げ、その価値を認めるとともに、「なぜそう考えたのか」を互いに聴き合う活動を充実させます。また、友達の考えとの違いを新たな気付きや自分の考えを深める機会として捉えられるようにし、安心して自分の考えを表現できる授業づくり・学級づくりを進めます。

□読書・読書習慣

読書習慣については引き続き改善に努めていきます。先日配付した、「生活チェックシート」をもとに、生活習慣と併せて読書についてご家庭でも考えるきっかけにしていきたいと思っています。また、「毎月読書」の取組も引き続きお願いします。

4・5年生は全国学力学習状況調査と同じ時期に、「みえスタディチェック」（国語・算数、理科、4年は理科なし）を行いました。結果は一部を除き概ね県平均をやや上回る状況でした。一方で、学習上の課題は一人ひとり異なります。返却された結果を参考に、自分の得意なところや課題を把握し、今後の学習に生かしてください。学校でも、結果を今後の学習指導や授業改善に活用していきます。